

別表1

教育研究上の目的及び養成する人材像

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
文学部		文学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人文科学に関する幅広い教養と高度な専門的知識及び的確な分析法を身につけ、現代社会が抱える多様な諸問題と向き合い、問題の根幹はどこにあるのかを正しく理解して課題を見据え、対処策や解決法を導き出せる創造力と実行力をもった人材を養成することです。
	文明学科	文学部文明学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、文明論・比較文明的な視野を養いつつ、古来人類の知的営為が生み出してきた東西の優れた哲学や思想についての基礎的な素養を身につけることにより、悠久の時間軸の中で人間の生き方や社会のあり方を根本的に捉え、現代の社会が抱える地球規模の多様な問題の一端を自分にとっての切実なものとして受け止めることにより、感性豊かな適切な言葉でそれを的確に他者に伝えることのできる市民としての人材を養成することです。
	歴史学科 日本史専攻	文学部歴史学科日本史専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、史・資料を客観的に分析し、歴史事象を論理的に思考する能力や、分析・思考の成果を他者に的確に伝える能力を鍛え、過去から現在に至る日本史の流れや人々の営みを正しく理解することによって、歴史的な視点で現代社会の課題を認識し、他者を公正に理解しながら、よりよい社会の形成に主体的に関与しようとする人材を養成することです。
	歴史学科 西洋史専攻	文学部歴史学科西洋史専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、ヨーロッパとその関連地域から構成される西洋世界について歴史的視点から多角的に学ぶことによって、幅広い知識を習得するとともに、思考力や判断力を養い、異文化の特質を正しく理解し、教育や文化をはじめ、様々な分野で国際的にも活躍できる優れた人材を養成することです。
	歴史学科 考古学専攻	文学部歴史学科考古学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、考古学と周辺諸科学に関する幅広い教養と高度な専門的知識および考古学的な分析法を身につけ、広く人類史を見つめ、その視点から現代社会が抱える多様な諸問題にも向き合い、問題の根幹はどこにあるのかを正しく理解して対処策や解決法を導き出せる創造力と実行力をもった人材を養成することです。
	日本文学科	文学部日本文学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、永い伝統を持ち、また現代日本の社会や文化とも密接に関わっている日本の文学や日本語について学ぶことで、日本の文化に関する幅広い教養の上で現代の社会に対して新しい文化的提案ができる人間、また伝統をふまえつつ次世代の社会に向けて創造的に関わってゆける人材を養成することです。
	英語文化コミュニケーション学科	文学部英語文化コミュニケーション学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、英語による実践的コミュニケーション能力と、それを支える教養や専門研究の力を兼ねた人材を養成することです。
文化社会学部		文化社会学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人文社会系の研究・教育の成果を土台としつつ、(1)多文化理解の促進、(2)高度な言語表現力の育成、(3)メディアの理解・利用・創造、(4)自立と共生を実現する知識と力、を柱とする研究教育を通じて、人・社会・自然の共生に立脚した社会生活の基盤の構築に寄与できる人材を養成することです。
	アジア学科	文化社会学部アジア学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、多様性に満ち、グローバル化のなか急速な変化を遂げているアジアについて学識を深めることで、異文化に向き合い中長期的な展望をもって現代のさまざまな課題に取り組み、国際社会、地域社会に貢献できる人材を養成することです。
	ヨーロッパ・アメリカ学科	文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、西洋世界について古代から現代までの包括的な理解を深め、さらに「文学・芸術」「宗教・思想」「歴史・社会」という多角的な視点からの学びを通じて、第一に、変動する世界情勢の中でも揺るがない洞察力を持ち、新たな文明を創造するエネルギーに溢れた人材を養成します。第二に、多様性を尊び、共生を志向する精神を持って未来を切り開き、暮らしを豊かにする知恵をもつ人材を養成することです。
	北欧学科	文化社会学部北欧学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「共生社会の構築に貢献できる自立した人材の育成」という目的へ向け、(1)北欧社会の先進的な取り組みや文化について学ぶことで広い視野と柔軟な発想力を備え、多様な価値観を受容することのできる人材、(2)言語学習や留学・海外研修などを通じて自らの考えを発信する力を高めた人材、(3)日本という視点から北欧を研究することで批判的考察力を身につけた人材、(4)自己と社会との関わり方や自立した生き方を主体的に構想し、日本社会が抱える課題の克服に積極的に取り組むことのできる人材を養成することです。
	文芸創作学科	文化社会学部文芸創作学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、文芸の創作と批評を通じ、(1)現代社会で通用する正確な言葉によって論理的かつクリエイティブに個々の感性と経験を表現する力、(2)人間と世界に関する情報や事象を柔軟かつクリティカルに読み取り、的確に分析し、本質を洞察する力、(3)広く諸芸術を鑑賞して培った教養を未来に向かって総合的に生かしてゆく力、という三つの力を備えた人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
文化社会学部	広報メディア学科	文化社会学部広報メディア学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、単なる技術の習得にとどまらず、メディアに関する理論的・歴史的・制度的な研究成果を土台としつつ、混沌としたメディアの現状に対応できる人材、社会的価値のあるメッセージを創造・発信できる人材、メディアや企業・行政の広報・広告部門で活躍できる人材を養成することです。
	心理・社会学科	文化社会学部心理・社会学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、心理学・社会心理学・社会学の学び、そして組織された実験やフィールド実習を通じて、人間関係の充実に必要な社会的スキルである“コミュニケーション能力”と社会的な課題や問題に対して具体的な解決策や行動計画を提案できる“社会的構想力”を有する人材を養成することです。
教養学部		教養学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、幅広い教養を身につけるとともに、学科における専門性を基礎としながら、同時に学科を繋ぐ学際的かつ実践的な教育を通して、社会の変化に柔軟に対応し、社会での自らの役割を自覚するとともに、様々な問題に対応できる創造力、独創力や実践力を有した人材を養成することです。
	人間環境学科	教養学部人間環境学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、私たち人間を取り巻く環境について「自然環境領域」、「生活文化領域」、「社会環境領域」の異なる領域から分析し、それらをトータルに把握するとともに、その専門性を基礎として、自らの社会的役割を自覚し、国際性と独創性、創造性を有した人材を学際的かつ実践的な教育を通して養成することです。
	芸術学科	教養学部芸術学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「身体指向」「社会指向」「発表指向」を目標とする芸術教育の実施により、音楽・美術・デザインなど個々の適性に合わせた専門能力、かつ「学際芸術」のコンセプトの下にそれらを統合する能力をも兼ね備え、様々な場面に対応できる判断力・行動力を持った視野の広い人材を養成することです。
児童教育学部		児童教育学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、子どもとそれを取り巻く社会状況及び教育・保育の役割を理解し、子どもの発達と学びを適切に支えることができる基礎的な知識・技能を基盤として、子どもの多様な発達と学びを総合的かつ連続的に捉える視野を持ち、そこで見出した社会・地域の課題に他者と協働的に向き合い、解決に向けて取り組むことのできる人材を養成することです。
	児童教育学科	児童教育学部児童教育学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、社会について幅広く学び、“子どもに係る諸課題は社会全体の課題である”ことへの理解を深めながら、「教育・保育の基礎的な知識と技能」と、「多様な子どもに向き合い、見通しを持った教育・保育を展開できる力」に加え、「教育・保育の課題を地域の課題として実際に向き合い、他者と協働してその解決に向けて主体的に行動できる力」を教育体系の中で養成し、「多様な子どもを、継続的に見通す力」を身につけ、教員や保育者といった専門職において活躍するだけでなく、広く子どもに関わる各分野(公務員、一般企業)において、身につけた人間性や能力を活用して、これからの社会に貢献する人材、共生社会の実現を目指す人材を養成することです。
体育学部		体育学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、体育・スポーツ科学の学修を通じて、その知識・技能・態度を修得すると同時に心身を錬磨し、これらの英知を生かして柔軟な思考力と総合的判断力を有する人材を育成すると共に、体育・スポーツ科学の専門家としての指導力及び実践力をもった、平和で健康的な社会の創造に貢献することのできる人材を養成することです。
	体育学科	体育学部体育学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、身体を多面的に把握・理解する能力の育成に重点を置き、体育・スポーツ科学の学修を通じて、人文社会科学や自然科学など体育・スポーツに関する幅広い知識・技能・態度を修得し、学校・企業・地域社会などあらゆる場面において、体育・スポーツに関する学問研究の文化的諸成果を、周囲の人々や未来を担う子どもたちに発展的に継承することのできる実践力・指導力ある人材を養成することです。
	競技スポーツ学科	体育学部競技スポーツ学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、自己及び他の競技者の競技力向上に寄与しうる能力を高めるに留まらず、アスリート、コーチ、トレーナーを目指す活動を通して、自己の専門分野における理論と実践面におけるリーダーとしての資質向上を目指し、国内はもとより世界のスポーツ界をリードしていくことのできる、より高度な知識と実践力を有する人材を養成することです。
	武道学科	体育学部武道学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、武道の特性を踏まえ、体育・スポーツ科学の視点から武道を科学的に研究することにあります。そして、武道実践を通して武道の精神と専門的な知識を身につけ、技術を体得し、国際性に富んだ広い視野を培い、自己開発能力に長けたリーダーシップのとれる、社会に積極的に貢献する人材を養成することです。
	生涯スポーツ学科	体育学部生涯スポーツ学科の研究教育上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、生涯にわたり健康で豊かな生活を送ることのできる社会の実現に寄与するため、生涯スポーツに関する理論及び実践を科学的に探求することを通じて、人々の健康の維持増進と生活の質の向上を促す確かな知識と技術を修得し、優れたコミュニケーション能力を持ち、スポーツ・健康増進施設、教育機関、企業など、地域社会で幅広く活躍できる人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
体育学部	スポーツ・レジャーマネジメント学科	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、思想・歴史・文化など幅広い教養と豊かな見識を持ち、平和で豊かで美しい地球社会の発展に役立つよう、人間が人間らしく生きていくために必要不可欠な人権の一つである「スポーツ&レジャー」分野において、自他に対してその実現に寄与し、科学的・創造的思考に卓越し、英語でのコミュニケーション能力を有して国際的に活躍できる人材を養成することです。
健康学部		健康学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、未来に向けて「健康社会」を実現するために、多様な分野から成る総合学問としての健康学を学び、“専門領域や職種を超えてネットワークを構築し市民と協働する力”、“併せて”国境も超えて多様な人々とも連携、協働できる力”、“複合的な視点で解決策を創造する力”を備え、マネジメントできる人材を養成することです。
	健康マネジメント学科	健康学部健康マネジメント学科の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、未来に向けて「健康社会」を実現するために、多様な分野から成る総合学問としての健康学を学び、“専門領域や職種を超えてネットワークを構築し市民と協働する力”、“併せて”国境も超えて多様な人々とも連携、協働できる力”、“複合的な視点で解決策を創造する力”を備え、マネジメントできる人材を養成することです。
法学部		法学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、社会の諸問題を法的に分析し、その解決方法を構築・説明することのできる法的素養(リーガル・マインド)を涵養することにより、人間の尊厳と人権の尊重を基調とする現代の社会において、責任ある行動をし、ジェンダー・障がい者差別等のないインクルーシブかつ平等な社会を志向することのできる自立した人材を養成することです。
	法律学科	法学部法律学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、法学的素養(リーガル・マインド)と能力を生かして自分自身を人間的に成長・発展させ、かつ、企業・団体の構成員として、そして地域社会、日本、ひいては国際社会の一市民として、自身の活動を通して平和でインクルーシブな社会の形成・発展に寄与する人材を育成することです。
政治経済学部		政治経済学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、我が国および国際社会の一層の発展と向上に寄与する「冷静な頭脳と温かい心」に立脚し「社会力」をもった人材を養成することです。
	政治学科	政治経済学部政治学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、21世紀におけるグローバル化、情報化、少子高齢化を視野にいれると同時に、環境、人権等、現代の政治課題に対応できるよう、地域社会から国際社会に及ぶ複雑な政治現象を客観的、多面的に分析し、現実社会の諸問題に取り組み解決を図る態度と能力を身に着けた人材を養成することです。
	経済学科	政治経済学部経済学科の教育研究上の目的は、①経済現象の仕組みや因果関係を理論的に解明できる力(理論的に考える力)、②経済現象について資料を集め科学的に分析できる力(実証分析する力)、③経済問題を多面的に検討して政策提言できる力(政策提言する力)、以上3つの力を備えた人材を養成することです。これら3つの力は、社会で求められる状況判断と意思決定の能力と密接に関係すると考えています。
経営学部		経営学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、複雑化する課題解決に対し、スキルと強い意志をもって行動出来る人材を育成していくことを目的に、経営学の理論・知識とデータ分析能力を持ち、問題解決に向けた新しいプロセスをデザインしながら新しい解決策を模索することができる人材を養成することです。
	経営学科	経営学部経営学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、複雑化する課題解決に対し、スキルと強い意志をもって行動出来る人材を育成していくことを目的に、経営学の理論・知識とデータ分析能力を持ち、問題解決に向けた新しいプロセスをデザインしながら新しい解決策を模索することができる人材を養成することです。
国際学部		国際学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、グローバル化の加速する社会において必要な「地球規模の課題を理解するための幅広い知識と思考力」、「言語・文化を超えて協働できるコミュニケーション力」、「高い倫理観をもって積極的に行動する実践力」を持つ人材を養成することです。
	国際学科	国際学部国際学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、実践的に使える知識と人間力を身につけ、複雑化するグローバル社会における課題を発見するとともにその解決に寄与し、多文化社会の中で活躍できる人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
観光学部		観光学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、社会科学系の研究・教育の成果を土台として、変化が著しい現代社会を生き抜く力をもった自主的・創造的人材を育成することです。すなわち、文化・社会・自然の多様性ならびに観光の諸現象に関する知識と理解、問題発見・解決力、創造力、日本語や英語等多言語でのプレゼンテーション・コミュニケーション力をはじめとする汎用的な能力と技能、協調性を保ちつつ独自性を発揮できる自己管理能力等、学士の学位をもって社会で生きる基礎的な力を有し、観光・サービス産業やそれらの研究分野の発展に貢献することができる独創的人材を養成することを目的としています。
	観光学科	観光学部観光学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、変化が著しい現代社会を生き抜く力をもった自主的・創造的人材を育成することです。すなわち、文化・社会・自然の多様性ならびに観光の諸現象に関する知識と理解、問題発見・解決力、創造力、日本語や英語等多言語でのプレゼンテーション・コミュニケーション力をはじめとする汎用的な能力と技能、協調性を保ちつつ独自性を発揮できる自己管理能力等、学士の学位をもって社会で生きる基礎的な力を有し、観光・サービス産業やそれらの研究分野の発展に貢献することができる独創的人材を養成することを目的としています。
情報通信学部		情報通信学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人々の生活の質的変化・価値観の変化に大きな影響を与えている情報通信技術をどのように発展させ、イノベーションを起こすためにどのように活用し、持続可能な社会を構築していくかの解決を目指し、多様性と国際性を兼ね備えた広い視野とコミュニケーション能力を有するとともに、情報通信に関する専門知識と技術を身につけ、それらを社会で十分に活用できる柔軟な思考力と活用力を備えた、情報通信技術者としての使命感、倫理観をもった人材を養成することです。
	情報通信学科	情報通信学部情報通信学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「グローバル社会の中で活躍できる英語能力と多様化する価値観を受容できる”コミュニケーション力”」を有し、「社会に生じる諸問題に対して”情報通信の専門性と技術力”」に基づき、「柔軟な思考力と活用力」をもって他分野との協働により解決を目指す”コーディネート力”」を身に付け、「情報通信技術者としての使命感と倫理観」をもって”自ら考え行動し、解決を目指す””ことができる人材を養成することです。
理学部		理学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、理学部独自の内容を教育に生かした指導を行い「専門性に対応できる基礎力」「総合的な判断力」「協力し合って問題に対処できる能力」をもった人材を養成することです。
	数学科	理学部数学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、現代数学の基礎を教授し、「数学に関する基礎的知識、専門性に対応できる基礎力」「数学の最新の研究動向に精通した総合的な判断力」「様々な分野において数学特有の論理的思考法で諸問題に対処できる能力」をもった人材を養成することです。
	情報数理学科	理学部情報数理学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、高度情報化社会に対応するため、「数理科学および情報科学の基礎知識と専門性に対応できる基礎力」「数理から情報にかけて蓄えた知識を応用する力」「幅広く現象や情報を収集・解析し、人と協力して問題に対処する能力」をもった人材を養成することです。
	物理学科	理学部物理学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、あらゆる物質、素粒子、宇宙、生命の謎に挑み、現象を支配する法則の解明のため、実験と理論の両面から学問を深め、現代物理の幅広い領域にわたる教育・研究を通して、「物理学への知的探究心」「物事の本質を知る習慣と能力」「自ら考え他者と協力する力」をもった人材を養成することです。
	化学科	理学部化学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、化学の基礎から専門までを学び研究することを通して「知識を応用する力」「問題を解決する力」「社会で協調して生きる力」をもった人材を養成することです。
	情報理工学部	
情報科学科		情報理工学部情報科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って普遍的な科学研究と革新的な着想を追求し、情報分野に関するグローバルな視野と新しい情報処理技術を創成する素養を持った国際社会に貢献する人材を養成することです。
コンピュータ応用学科		情報理工学部コンピュータ応用学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、これからの高度情報化社会、高福祉化社会の技術的基盤として必要とされている、実社会における機器やシステムへコンピュータを高度に応用するための知識と技術を蓄積・開発することにあります。本学科では、「コンピュータ工学」および「知能ロボティクス」の専門的な基礎知識と実践的技術の習得を目指し、グローバル化した社会での急速な技術革新に対して、自らを進歩させ柔軟に対応できる幅広い知識と応用力、リーダーの資質と英語コミュニケーション能力を養い、国際的にも活躍できるような人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
情報理工学部	情報メディア学科	情報理工学部情報メディア学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、日々変化していく技術や新しい価値を捉える力を受容し、社会を支えていく人材を社会に排出することを目指し、「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」「それを情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう課題を発見し解決していく力を有する人材を養成することです。
建築都市学部		建築都市学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、従来の「工学」の枠組みを越え、最新かつ高度な専門知識・技術力と、人間・社会・生活・文化・歴史に対する幅広い視野と柔軟な発想力を持ち、ソフトとハードの両面から建築・都市の未来に向けて抱える課題に対し、自ら調査・発見し、地域と協働して解決を図ることができる「柔らかな技術者」の育成を目的とします。 地域に根ざした建築・都市のあり方を、既存の建築・土木分野のみならず、社会学・経済学など文系分野の教員の参画等により多角的に学ぶことで、住環境から都市環境、地球環境まで及ぶ広い視野と高い技術力を備え、持続可能な社会システムの構築をめざすグローバルな人材を養成することです。
	建築学科	建築都市学部建築学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、技術の進歩、環境の変化、社会の変化を捉える幅広い視野と、建築学の幅広い専門性を兼ね備えた「柔らかな技術者」の育成を目指し、「建築計画」「建築工学」「地域デザイン」をカリキュラムの柱とし、文系・理系の枠にとらわれず、社会・生活の「変化を捉える力」を備え、新しい視点を持って地域と社会の発展に継続的に寄与できる人材を養成することです。
	土木工学科	建築都市学部土木工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、従来のライフラインの整備、国土保全、社会基盤の建設から、自然環境の保全、災害の軽減、エネルギーなど、持続可能社会の構築を視野に入れた土木工学の幅広い専門性を有し、社会経済や自然環境の変化に加え、想定外の環境変化にも対応できる柔軟性をもった人材を育成します。具体的には、「都市と防災」、「都市と環境」をカリキュラムの柱とし、身に付けた技術力をもって、地域の発展に還元することができる技術力と実行力を伴った人材を養成します。
工学部		工学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、工学に共通する基本的知識と、学科固有の専門知識に加え、世界の趨勢に目を向ける国際性および多様化する価値への寛容性をもって、世界が直面する技術的課題や現代社会が内包する社会的問題に対し、科学技術者の視点から積極的かつ創造的に取り組み、社会の発展に寄与する志をもった人材を養成することです。
	航空宇宙学科 航空宇宙学専攻	工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、飛行機に関わる工学やロケット・人工衛星に関わる工学に加え、宙空環境の科学を含めた学際的複合領域も学修して、幅広い知識・技術を修得するとともに、国際的センスと豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。近年の先端科学技術は、多くの課題が生じ困難に直面していますが、航空宇宙学専攻の目的は、学生諸君が自ら問題意識を持ち、考え、主体的に課題に取り組んでこれらの問題を解決出来る能力を持った人材を養成することです。
	航空宇宙学科 航空操縦学専攻	工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、航空機操縦と運航に関する知識と技術を修得し、豊かな人間性と確かな操縦技術を兼ね備えて社会の負託に応え、常に向上心を持った信頼されるプロフェッショナル・パイロットを育成することで、あわせて米国留学の機会も活用し国際性と語学力を身に付けた人材を養成することです。
	機械工学科	工学部機械工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、国際化が進んだ現代社会で積極的に課題解決ができ、かつ独創的な機械エンジニアを養成することであり、また、幅広く社会貢献可能な全人的な教育を行うことです。さらに、アクティブラーニング科目や卒業研究などの実践的教育を通して、機械工学を学ぶ上で必要とされる基礎知識を広く修得すると共に、専門科目の学修を通して高度な専門知識を身に付け、技術者としての倫理観をもった人材を養成することです。
	機械システム工学科	工学部機械システム工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、加速化する高齢化社会を支えながら人と共生する機械システムを創造するために必要な専門知識を習得するとともに、機械工学とシステム工学の融合に立脚した先進的な考え方や確固たる技術者倫理観、そして人と人、人と情報を結びつけるコーディネート力を身に付けることで、生活の質向上に資する機械システムの在り方や社会との関わりを正しく理解し、目まぐるしく変貌する現代社会が抱える諸問題に対し技術的かつグローバルな視点より解決策を導き出すことができる人材を養成することです。
	電気電子工学科	工学部電気電子工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、豊かな人間性を備え、技術者としての使命を理解し、電気電子工学および情報・通信工学分野の技術を活用して、調和のとれた社会の構築に寄与できる能力を備えた人材を育成することです。また、今後ますますグローバル化が進む社会を見据え、論理的な思考によって主体的に課題の発見と解決に取り組むことができる人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
工学部	医工学科	工学部医工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、現代の医療問題に対して、科学・技術に携わる者としての使命と社会との関係を、工学の規範に則した志をもって考える教育を行います。それを基礎として、先端医療を支え、さらに発展させるための医療技術・医療機器・医用システムの研究・開発、応用および工学的評価など複眼的視野から、工学分野と医学分野の確かな知識・技術を持ち、社会の変化に柔軟に対応しながら、有機的かつ継続的に問題解決に向かうことができる技術者及び臨床工学技士としての人材を養成することです。
	生物工学科	工学部生物工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、医薬品・食品等の人間に直に接する産業・業種において、社会に貢献できる人材を育てるとともに、関連する分野の進展に寄与することです。カリキュラムとしては、生物工学基礎科目群をベースに、有機化学・生化学・生命数理の各科目群を学修することで、基本的事項を習得します。その後、応用的な一連の科目で生物学の知識・技術を医薬品・食品等と関連付けて学ぶことで、社会展開に結びつける力を養います。また、習得した知識を現場で利活用できるように、安全面も含めて多様な技能を実験科目・卒業研究科目において身につけます。これらを通して、社会の求めに応じて生物学の知識・技術を提供できる人材を養成します。
	応用化学科	工学部応用化学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、日本の基幹産業である製造業界において、化学の基礎知識や専門知識及び修得した技能に立脚して論理的判断を下すことができるような人材(技術者・研究者etc.)を養成することです。また、グローバル化した社会において活躍しうる国際的なセンスを身につけ、高度情報化が進む科学技術を化学的かつ工学的な視点で理解し問題解決に自ら取り組めるような人材を養成することです。
医学部		医学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、「科学とヒューマンイズムの融和」の精神のもとで、保健・医療の幅広い知識と確かな技能とともに豊かな人間性を有し、創造的な「生命科学研究」を実践できる人材を養成することです。
	医学科	医学部医学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「科学とヒューマンイズムの融合」の精神にもとづいて、幅広い視野に立ち、広範な知識・確かな技能・豊かな創造性を持ち、社会的役割を認識し人に対する尊敬を忘れない人間性豊かな「良医」を育成するとともに、生命倫理に対する高い見識に裏付けられた、創造的かつ先進的な「生命科学研究」を実践できる人材を養成することです。
	看護学科	医学部看護学科の教育目的は、大学・学部の教育目的に沿って、さまざまな健康レベルの人々が、あらゆる生活の場で、その人らしく過ごすことを支援する看護が実践でき、温かな人間性をもつ専門職を育成することです。そのための幅広い教養、知識、技術を持ち、人権擁護を基盤としたヒューマンケアが実践できる人材の育成を目指します。
海洋学部		海洋学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、海洋に関わる社会科学、理工学などの幅広い基礎知識と、高度な専門知識と技術をもって、地球と人類が抱える多様な諸問題に対して、海洋を通じてその全体像を正しく理解し、さらに、これらの問題に対する対処・解決の方策を導き出せる創造力及び実践力をもった人材を養成することです。
	海洋理工学科 海洋理工学専攻	海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海洋科学にかかわる幅広い知識と、海洋を利用するための高度な技術をもって、自然科学的な視点とともに、社会科学的な眼差しを兼ね備えた、海洋に関する諸問題の対処と解決の方策を導き出せる思考力及び実践力をもった人材を養成することです。
	海洋理工学科 航海学専攻	海洋学部海洋理工学科航海学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海事に関わる人文社会学、自然科学などの幅広い基礎知識と、高度な海技士としての専門知識と技術をもって、海運界、海事関連産業が抱える多様な諸問題に対して、その全体像を正しく理解し、さらに、これらの問題に対する対処・解決の方策を導き出せる海技従事者となる人材を養成することです。
	水産学科	海洋学部水産学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、水生生物を食品の源ととらえ、その生態と生活環境、保護育成や増養殖などの水産資源に関する知識を有し、生物の多様性を維持した生物資源の持続的な利用に貢献できる知識と技術を備え、かつ食品の加工・製造、食の安全・安心に関する知識と技術を身につけた、計画力と実践力に富み、生物と人との関わりを考慮できる社会貢献度の高い人材を養成することです。
	海洋生物学科	海洋学部海洋生物学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海洋生物とそれを取り巻く環境に関する正しい知識を身につけ、それを礎として海洋生物の多様性の維持と海洋環境の保全を目指すことのできる情報リテラシー能力を有し、自らの意見を持って海洋生物の有効利用への寄与と人間社会の発展に貢献し得るような社会的責任感のある人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
人文学部		人文学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、私たちが直面する様々な課題に立ち向かい魅力ある未来社会を創造するため、人文学の基礎的知識を修得するとともに多岐にわたる人文社会系の学問分野をつなぎあわせて、社会変化に対応していく人材を養成することです。人間社会が内包する多様な価値観や文化を相対的・総合的に理解したうえで、地域における課題の解決と新たな価値の創出に貢献し、変化する世界に柔軟に対応しうる発想力と行動力をもった人材の育成を目指します。
	人文学科	人文学部人文学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、現代あるいは将来において生じるであろう問題や変化に対して、新しい価値観を持って対応していく人材を養成することである。人間の多様なあり方を探求する人文学の専門知識を活用して、身近な地域に存在する歴史や文化、自然を基礎に新たな価値を構築し発信する力、グローバル化や技術の進展に伴う諸問題の実態に迫りその解決法を探る思考力、変化する世界に対応したライフスタイルや社会経済活動のあり方を提案する発想力と行動力を持った人材の養成を目指す。
文理融合学部		文理融合学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、超スマート社会「Society5.0」で必要とされる、情報活用能力と、現代の複雑な問題を文系・理系の枠を超えた視点でとらえ、解決できる能力を身につけ、国連が提唱するSDGs (Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標)の達成が不可避となった現在の世界の課題解決や21世紀を通じた社会づくりを地域の視点で研究するとともに、それを実践していく人材を養成することです。
	経営学科	文理融合学部経営学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「理論と実践」を深化させ、文理融合の学びを生かした複眼的視点から、ビジネスにおける3分野「企業経営分野」、「スポーツビジネス分野」、「アグリビジネス分野」における経営上の「新しい知」を創出していくことです。この目的を踏まえ、経済的利益の向上だけでなく、社会的利益、環境的利益の向上を考える専門的知識と技術を身に付けた上で、地域社会だけではなく、国際社会で貢献できる人材を養成します。
	地域社会学科	文理融合学部地域社会学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、文理融合の複眼的視点を持って地域の諸問題を読み解き、「地域観光」と「心理・広報メディア」の双方から地域の活性化を継続的に推進し、近未来地域づくりを創出していくことです。この目的を踏まえ、急速に変化している高度情報化社会において多様性とグローバル化の中にある地域社会の可能性を見出し、その継続的な活性化に向けて近未来地域づくりをプロデュース・マネジメントしていける人材を養成します。
	人間情報工学科	文理融合学部人間情報工学科の教育研究の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、情報技術による上質な地方社会の実現に向け、自然と調和した快適で健康的な生活環境を構築できる情報及び工学の技術者を養成することです。具体的に、地方の暮らしを文理の枠を超えて深く理解できる知識をもち、さらに、「情報工学」と「医用工学」に関する高度な専門知識と技術を備え、それらの知識と技術を活用し、自然環境に配慮しつつ、地方の暮らしに快適さとし心身の健康をもたらす、工学的なシステムを構築できる人材を養成します。
農学部		農学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、食料の生産と利用、生命の仕組みの理解、生態系との調和への探究等について、それらの理論に加え、「活用する実践的技術」や「応用して問題を解決できる能力」を身に付け、地域や国内はもとより世界の持続的発展に「食の重要性」と「生命の尊さ」をもって貢献できる人材を養成することです。
	農学科	農学部農学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、実験・実習を通じて直接植物に触れ、地域の自然や農業に接する体験型の教育を通して、「地域の持続的発展に貢献するための食料生産に関する専門的知識を実践的に身に付けていくこと」に加え、刻々と変化していく社会に対して「確固たる自然観や生命観を有し、揺るぎなく進むべき道筋を見出す創造性」、「自然環境の保全や人類の未来に対して、責任ある社会貢献を継続できる態度と能力」を身に付けた豊かな人材を養成することです。
	動物科学科	農学部動物科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、生産科学、動物生命科学、人と動物との共生科学に関する確かな専門知識を持ち、地域の生態系や文化を理解し、持続的かつ安全な動物生産、動物にかかわる新たな技術開発、科学的根拠に基づく人と動物との適正な関係の創出を目指して、実践的な対処・解決の方策を導き出せる力と、複眼的な視点に基づく倫理観を持って責任ある社会貢献ができる人材を養成することです。
	食生命科学科	農学部食生命科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、生命現象を科学的に理解し、より良い食品の創造と食を通じた健康について考える力を培うために、「食健康科学・予防医学」、「発酵・食品加工学」及び「生命科学」における専門知識と新しい技術を修得するとともに、様々な課題に対応できる解決能力と向上心や協調性を併せ持つ人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
国際文化学部		国際文化学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人文科学、社会科学に関する高度な専門的知識に加え、環境適応力、人間関係構築力、高度な外国語運用能力をもち、国籍や文化の差異を超越して良好かつ平和な人間関係を構築できる「国境なき社会人」としての資質をもった人材を養成することです。
	地域創造学科	国際文化学部地域創造学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、学部が掲げるディプロマ・ポリシーである「国境なき社会人の育成」を実現するため、人間同士の結びつきが生み出す身近な社会である「地域」を基本単位として、国際的な視野から地域の発展に資する人材を養成することです。
	国際コミュニケーション学科	国際文化学部国際コミュニケーション学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、高度な外国語運用能力を有し、貧困、環境、健康といったユニバーサルな課題に対する理解を深め、当該課題の解決に対して主体的に取り組むことができる人材を養成することです。
生物学部		生物学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人類が培ってきた文化・文明と自然・地球環境を一体とした視野を持ち、生物多様性の保全、生物資源の持続可能な利用を目指す行動型国際人であり、さらに地球と人類の抱える諸問題に対して、陸上と海洋のフィールドにおける理解を深め、文理融合の学際的知識と化学物質から生態系に至る専門知識・技術を主体的・複眼的に活用して、自ら課題に取り組み解決する能力をもった人材を養成することです。
	生物学科	生物学部生物学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、分子・細胞レベルから個体群・生態系レベルに至る広範な生物学と生物に関する知識と技術を修得し、社会の中で率先して生物の持続的利用と自然環境維持に貢献できる実践力をもつ人材を養成することです。そのため、生命倫理を理解し、自然の成り立ちと人類の関わり方を考える態度の醸成を目指します。そして、実験・実習とフィールド調査等を通じて、生物の機能を総合的に解明して応用できる能力をのばします。
	海洋生物科学科	生物学部海洋生物科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海洋生物やそれを取り巻く環境に関わる知識と技術を修得し、社会の中で率先して生物の持続的利用と自然環境維持に貢献できる実践力をもつ人材を養成することです。